



山形大学
Yamagata University



明治大学
MEIJI UNIVERSITY



IRデータの効果的な 可視化に関する勉強会

～HOW TO PRESENT DATA MORE EFFECTIVELY～

藤原 宏司¹・浅野 茂¹・山本 幸一²・相生 芳晴³

August 7, 2017

於：明治大学駿河台キャンパス紫紺館S2会議室

1 山形大学 学術研究院

2 明治大学 教学企画部 評価情報事務室

3 上智大学 学術情報局 情報システム室・IR推進室

勉強会の趣旨

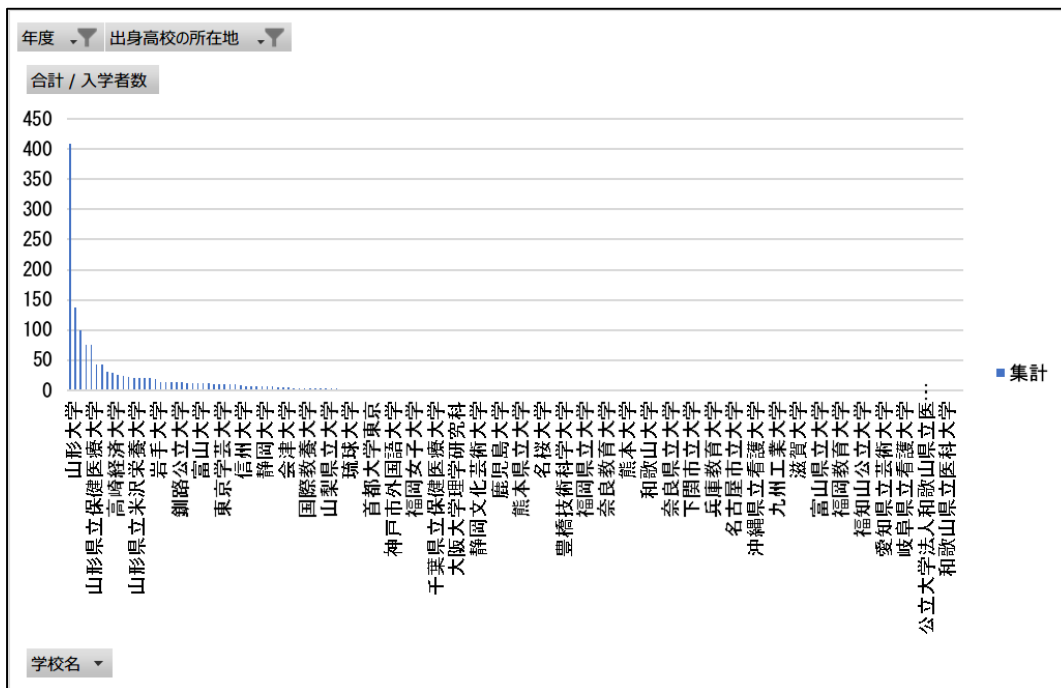
- ✓ IR (Institutional Research) とは？
 - (例) 山形大学OIREの定義：
客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の効果検証及び、**情報提供**等を通じた**大学の意思決定**又は**業務の継続的改善**を支援すること
- ✓ IRを成功させるためには？
 - 大学の意思決定や継続的改善に資する**情報を分かりやすく(効果的に)提供する**・・・とは言うものの

言うは易く行うは難し
(Easy to say, but hard to do.)

どのように可視化しますか？（執行部へのプレゼン）

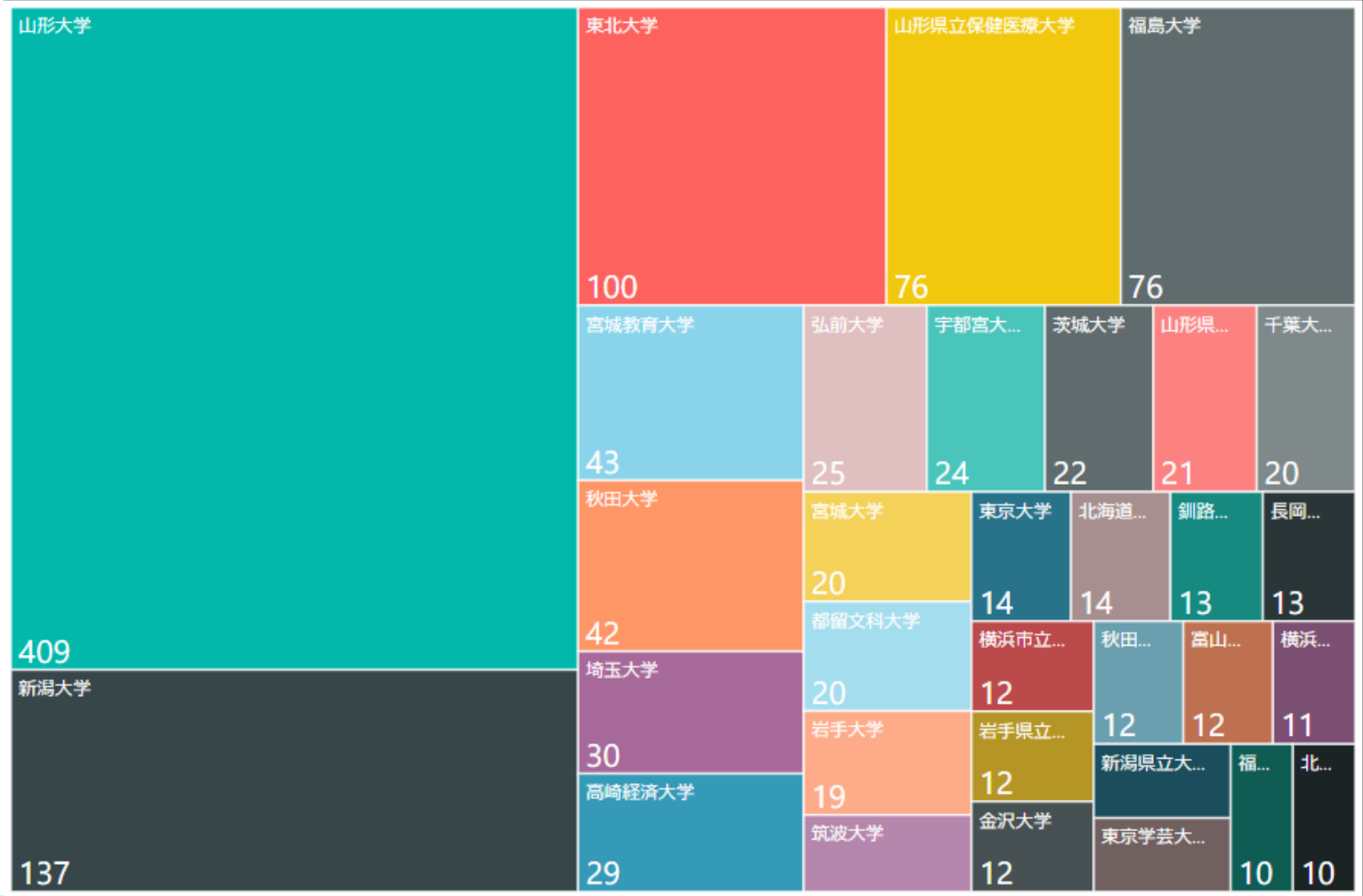
- 例：山形県内の高校を卒業した学生が、どの国立／公立大学に入学したか（2016年度）

大学名	入学者数
山形大学	409
新潟大学	137
東北大学	100
福島大学	76
山形県立保健医療大学	76
宮城教育大学	43
秋田大学	42
埼玉大学	30
高崎経済大学	29
弘前大学	25
宇都宮大学	24
茨城大学	22
山形県立米沢栄養大学	21
都留文科大学	20
千葉大学	20
宮城大学	20



どのように可視化しますか？ (contd.)

出身高校の所在地 → 入学先 (N > 9)



Two heads are better than one!

■ 勉強会でやりたいこと

1. 効果的なデータの可視化（プレゼンテーション）方法の検討
 - 同じデータセットを用いて、各自がデータの可視化を行った結果を持ち寄る。
 - 可視化ツールは、各自が得意とする物を使って下さい。
2. 執行部等へ対する効果的なレポーティング方法の検討
 - Executive summary
3. その他
 - 面白そうなトピックがあったら教えてください。
 - 科研費調査へのご協力もお願いします。
「IR を活かす学内データ管理に関する研究：統合型データベース構築への第一歩として」
(課題番号：17K04603、研究代表者：藤原宏司)

今日の活動と検討結果

1. 自己紹介（全員）

- 名前、所属、IR活動との関わり、得意とするBIツール他

2. Power BIを用いた公開データのレポーティングについて

- オープンデータの使用例 ([OIRE : Power BI Reports](#))

3. Tableauを用いたデータの可視化について

- オープンデータの使用例 (Ctrl + [クリック](#)して下さい)
<https://public.tableau.com/profile/yoshiharu.aioi#!/>

4. 勉強会で使用するデータセットの検討

- 検討結果：公開データを用意（藤原）して、参加者全員で可視化
→ 次回は参加者が各自作成した図表についてクリティーク

5. その他

- 検討結果：データマネジメント（DM）についても取り扱う
→ 次回はVBAを用いたDMに少し触れてみる